

医療に関する相談・苦情は・・・ 医療安全相談センターへ

【相談内容】医療についての心配事や診療の内容／医療機関の紹介／医療費、投薬、検査などに関する相談および苦情

【相談時間】毎週月曜日～金曜日の9時～17時
(祝日等閉庁日は除く)

【相談体制】医師1名、保健師1名、看護師2名
※医師への相談は、原則として火曜日の午後のみで、事前予約が必要

【所在】県庁健康福祉部医療整備課内
(本庁舎13階)

相談専用電話

☎ 043-223-3636

県からのお知らせ

千葉県総合スポーツセンターの 各種教室の参加者募集

- 健康体操②(中高年齢者) 8月29日～10月17日・水曜 13時30分～15時 全8回
- 入門エアロビクス①(原則として16歳以上で未経験者) 8月29日～10月17日・水曜 10時～11時30分 全8回
- シェイプアップエアロビクス・ヨガ②(原則として16歳以上) 8月30日～10月18日・木曜 10時～11時30分 全8回
- 上級エアロビクス①(原則として16歳以上で経験者) 8月30日～10月18日・木曜 19時～20時30分 全8回
- ジャズ体操②(原則として16歳以上) 8月31日～10月19日・金曜 13時30分～15時 全8回
- 中級エアロビクス②(原則として16歳以上で経験者) 8月31日～10月19日・金曜 10時～11時30分 全8回
- 初級エアロビクス②(中学生以上) 9月1日～10月20日・土曜 13時30分～15時 全8回

【参加費】2,500円(別途保険料400円が必要)

【申込み期限】7月15日(日)

定員・申込み方法など、詳しくはお問合せください。

■千葉県総合スポーツセンター企画指導課(月曜日休み、祝日の場合は翌日休み) ☎ 043 - 290 - 8503

講演会

第18回日本小児科医会セミナー 市民公開講座

テーマ:「守ろう 育てよう 未来の地球の担い手を!」

日時:6月17日(日)13時20分～16時20分

場所:幕張メッセ 国際会議場

入場:無料

主催:千葉県小児科医会

■お問合せ/事務局 ☎ 043 - 424 - 3515

国立病院機構 下志津病院内

医療ルネサンス 千葉フォーラム

テーマ:「かかりつけ医を見つける」

日時:6月22日(金)13時30分～16時

場所:千葉市文化交流プラザ(旧ば・る・るプラザ)

入場:無料(定員400名・申込制)

主催:読売新聞社 後援:千葉県医師会

■お問合せ/読売新聞千葉支局

☎ 043 - 225 - 2001

ブックレビュー
医師会員の著書

文学に見る痘瘡

川村純一 著



思文閣出版
279P/5,000円(税別)

幕末の頃、欧米人がお江戸の日本橋や京都の三条大橋の真ん中に立って、行き交う人々を眺めると、痘痕(あばた)顔が多いことに驚いた、とのことである。痘痕とは、痘瘡(とうそう)が治った跡の顔に残るくぼみで、愛すれば欠点まで好ましく見えるという意味の「あばたもえくぼ」という言葉があるほど、昔は痘痕顔が多かった。実は、私の祖母も痘痕顔だった。京都のお公家さんの娘ながら30歳過ぎても、しかも後妻として東京に嫁いできたのは、その顔のせいだったのではないかとも思う。しかし、痘瘡のお陰で今の私が、この世にある。

本書は、千葉県医師会顧問の川村純一先生の近著である。先生は同じ出版社から「病の克服 日本痘瘡史」という労作を上梓されている。痘瘡に対する、先生のなみなみならぬエネルギーと変わらぬ愛情(?)に敬意を表するばかりである。

著者は言う、「本書は過去の文学作品を通じて、当時の民衆の痘瘡に対する疾病概念および医療の状況を把握し、かつ、これに対して近代医学的考察を加えたものである」と。史料とした文学作品は46点で、内訳は平安2、鎌倉2、室町1、江戸35、明治3、大正1、昭和2である。恥ずかしながら、このうち、私が原著を読んでいるのは夏目漱石の「吾輩は猫である」だけである。今日、よく見かける顔写真からは、漱石が痘痕顔で、それが悩みの一つだったことは想像ができない。早速、漱石の「天然痘の跡が残った顔」の部分を探してみようと、かなり詳しく書かれているので驚き、思わず読み返したほどだ。ぜひ、ご一読をお奨めしたい良書である。

【評】内田勝久(千葉県医師会編集広報委員)

【健康メモ】放送予定

NHK 千葉放送局の FM ラジオ番組「ひるどき情報ちば」(11時～12時)内で放送(周波数:千葉 80.7/銚子 83.9/勝浦 83.7/館山 79.0)。テーマ、出演医師は変更になる場合があります。なお、第1火曜日は歯科領域がテーマとなります。

6月12日(火)

慢性閉塞性肺疾患について

水谷 文雄 医師 (高根病院 院長)

6月19日(火)

交通事故時の健康保険使用について

鎌田 栄 医師 (かまだ整形外科 院長)

6月26日(火)

サプリメントのメリット・デメリットについて

塚本 恒行 医師 (塚本医院 院長)

7月10日(火)

妊娠中と出産後授乳中の服薬について

西脇 哲二 医師 (千葉市立青葉病院 産婦人科)

7月17日(火)

紫外線による皮膚疾患

児島 孝行 医師 (そが皮膚科 院長)

7月24日(火)

食中毒について

渡邊 東也 医師 (渡辺医院 院長)

7月31日(火)

熱中症について

秋葉 則子 医師 (秋葉クリニック 副院長)

編集後記

本誌では、「かかりつけ医を持ちましょう」というお勧めと、「生活習慣病撲滅」を二大テーマにしています。県民の皆様、この二つを常に意識していただくことが「健康ちば」実現の近道だからです。次号(第23号)は9月中旬の発行予定です。

■ 読者の皆様の個人情報は、本誌の誌面づくりやご連絡のみに使用させていただきます。

ミレニアム

通巻 第22号

2007年6月12日発行

社団法人 千葉県医師会 広報課

〒260-0026 千葉県中央区千葉港 7-1

☎ 043-242-4271 (代)

www.chiba.med.or.jp

こども急病 電話相談



受診した方が良いのが、
様子を見ても大丈夫なのが、
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

相談日時は
土・日曜日、祝日、振替休日、
12月29日～1月3日の19時～22時

プッシュ留線の固定電話からは、局番なしの
#8000

#8000は、お子様のいるお家の一室に設置していただく専用留守番電話です。

●ダイヤル留線、携帯電話、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合
☎043(242)9939



お子さんの急な病気で心配なとき



局番なしの#8000または、043(242)9939



看護師・小児科医が電話で相談に応じます。

緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

実施 千葉県 産科 千葉県医師会

電話がつながるとアナウンス(自動メッセージ)が流れます。

最後に、「ご承諾いただける場合は①をプッシュしてください。ご承諾いただけない場合は②をプッシュしてください。最初から説明を聞く場合は③をプッシュしてください。①をプッシュした場合は、「では、担当者が出ましたら、まずお子さんの氏名、住所、電話番号、性別と名前をゆっくりお伝えください。」②をプッシュした場合、「電話をお切りください。ご利用ありがとうございます。」③をプッシュした場合、ガイダンスの最初に戻ります。」

なお、相談者には通話料金がかかりますので、ご承知おさください。

読者の声

■ リニューアルした「ミレニアム」、サイズが小さくなり、ページ数が増えたのに前より軽くて、持ち帰るのに便利になりました。毎号ファイルしていますが、本誌のおかげで健康に対する意識が大きく変わりました。

■ 21号の特集「メタボリックシンドローム」を読み、来年度から40歳以上の人に健診が義務付けられることを知り、驚きました。近頃とみにメタボリックシンドロームが強調されている理由が、貴誌の記事で初めて納得できました。

■ NHKの「健康メモ」を毎回楽しみに聴いています。ラジオなので、出演されている医師の方の顔が見えないので、声からどんな方なのか想像しながら聴くのも楽しいものですが、もう少し女医さんを登場させても良いのではないかと思います。

◎ 本誌や医師会に対するご意見は、葉書または封書でお送りください。送り先は左記、広報課内「読者の声」係としてください。